



**和泉自動車検査登録事務所**  
**登録部門 自動車登録官**  
**【事務官】 平成31年4月入局**

**略歴**

令和4年4月 近畿運輸局 観光部 国際観光課

令和5年4月 京都運輸支局 登録部門  
自動車登録官

令和6年4月 和泉自動車検査登録事務所  
登録部門 自動車登録官



**近畿運輸局に入局したきっかけ・理由は何ですか？**

観光の仕事に興味があったからです。

就活時は外国人観光客がものすごく増えている時でした。私は外国語学部だったこともあり、海外の方が日本に来て良かったと満足し、好きになってもらいたい思いがありましたが、運輸局では日本のPRに加え、受入環境の整備もできると思い、志望しました。

**現在はどんな業務に携わっていますか。**

自動車の登録業務に携わっています。「和泉」「堺」ナンバーの車の車検証を発行するところで、窓口業務をしています。申請者の提出する書類を確認・審査し、新しい車検証を発行しています。引っ越しなどで初めて来られる住民の方もいらっしゃるなので、手続きの案内もしています。

これまで携わった中で印象に残っている仕事を教えてください。

---

観光部で、答えのない案件についてアイデアを出し合いながら仕事を進めたり、自分の言葉で説明する機会が多かったことです。例を一つ挙げると、姫路城を訪れる外国人観光客が楽しめるコンテンツについて考える事業がありました。様々な国籍のモニターの方に意見を聞くことができ、国や文化によって、もちろん人によっても感じ方が全然違っていて驚きでしたし、そこからもっと議論を深めることができました。それを通して、「こうでないといけない」と一つ答えを決めなくてもよくて、どんな意見も出し合う中で、もっとよい発想が浮かび、前に進めるのだなという気づきがありました。また、大学に出向いて観光部の業務を紹介したり、自治体の方に事業の説明をしたりする機会もありました。人に伝えようとするのが難しく、改めて調べ直しながら準備したことを覚えています。どちらも最初は苦手意識がありましたが、やってみると楽しく、新たな気づきをたくさん得られた業務でした。

近畿運輸局の魅力って何だと思えますか？

---

仕事の幅が広く、多くの人の生活に繋がる場所です。

私自身ほぼ毎年部署異動があり、自動車関連、観光、会計業務を経験しました。異動の時は転職のようで大変でもありますが、一度経験して得た知識や考え方は他部署に行っても生かせると感じています。国家公務員というと少し国民と遠いイメージがありますが、誰もが使う交通がメイン業務であり、窓口業務もあるので、思った以上に人との関わりがあり、生活に直結しています。

一年目に地元奈良の支局に配属されましたが、業務を通じて、普段当たり前のように見ていたバスやトラックがどのような過程を経て運行し、人々の生活を支えているのかがわかり、より身近に感じられるようにもなりました。

最後に、国家公務員を目指す受験生へ熱いメッセージをお願いします。

---

受験勉強や面接の準備など、日々本当にお疲れさまです。

就活中はやるのが膨大でエネルギーも必要ですが、社会にはどんな仕事があるのか、どんな風に働けるのか、様々な知ることができる期間でもあります。私自身、最初から運輸局を知っていたわけではなく、調べたり説明会に行ったりする中で見つけるようになりました。また、中でも大事なことは自分をよく知ることではないかと思っています。自分の経験を小さく思わず、その時々を考えや気持ちを思い起こしてみると、見えてくるものがあると思います。動いた分、考えた分、得るものがあるはずですよ。みなさんが最善の道を行けるよう応援しています！

